

令和 8 年度全国学力・学習状況調査（3年生対象） 結果と分析

令和 8 年 4 月 23 日（木）、24 日（金）、30 日（木）に本校 3 年生を対象に実施した、全国学力・学習状況調査結果が文科省より 7 月中旬（一部 9 月上旬）に提供されました。本校結果として、まとめたのでお知らせします。

今年度「教科に関する調査」は、国語・数学・英語で実施し、国語・数学は冊子を用いた筆記方式（PBT 方式）、3 年ぶり実施の英語は生徒が活用する ICT 端末（Chromebook）を用いたオンラインでの CBT 方式に全面移行で実施しました。結果は経年比較が可能な IRT スコアが表示されました。

各教科の出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容はそれぞれの学年・教科に関し、次のとおりです。

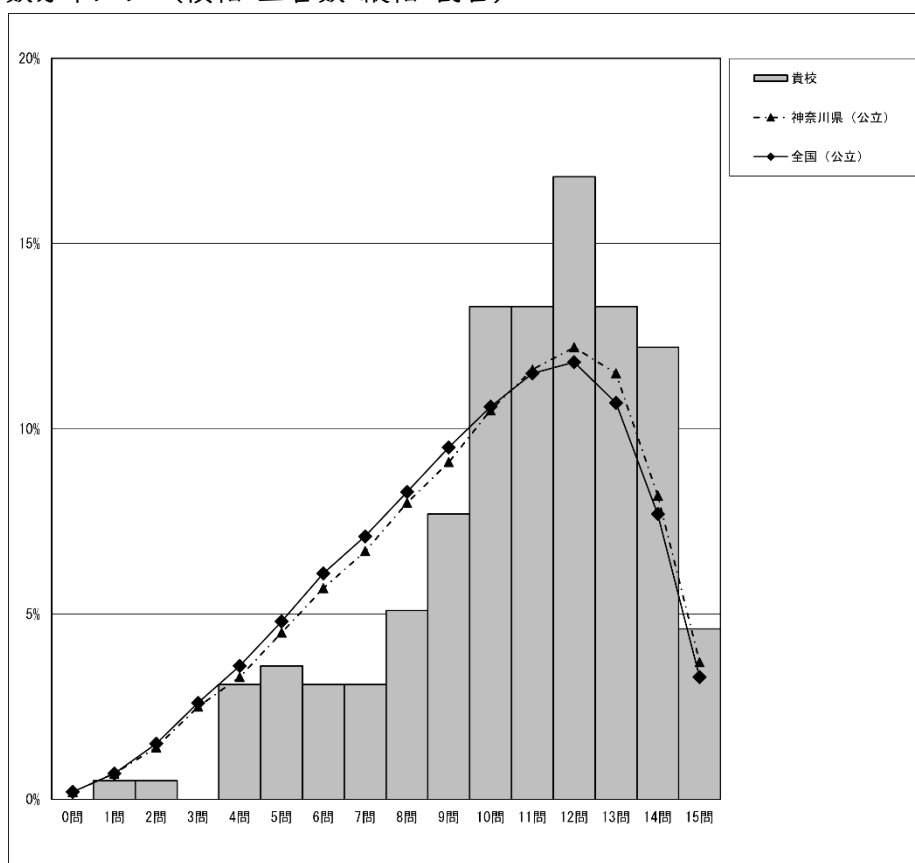
- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て、実践し評価・改善する力等＊「令和 8 年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領」より抜粋

【本校と県・全国（公立）との学力・学習結果の比較】

国語の集計値と正答数分布グラフ

国 語	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立篠原中学校	196	10.7 / 15	72	11.0	2.9
神奈川県（公立）	56,901	9.7 / 15	65	10.0	3.3
全国（公立）	841,873	9.6 / 15	63.9	10.0	3.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）



【学力・学習調査結果分析】国語

本校の平均正答率は、「知識及び技能」・「思考力・判断力・表現力」のいずれにおいても全国及び県の平均正答率を上回っており、全体的にバランスよく得点することができている。とくに、書くこと「気持ちがより伝わるように、表現を工夫して書くこと」の問題の正答率が全国及び県よりかなり高く、表現の効果を考えて描写することができる力が伸びている。今後は自分の考えを整然と組み立て、相手に理解しやすく伝えるような論理的思考力を纏う努力も必要である。

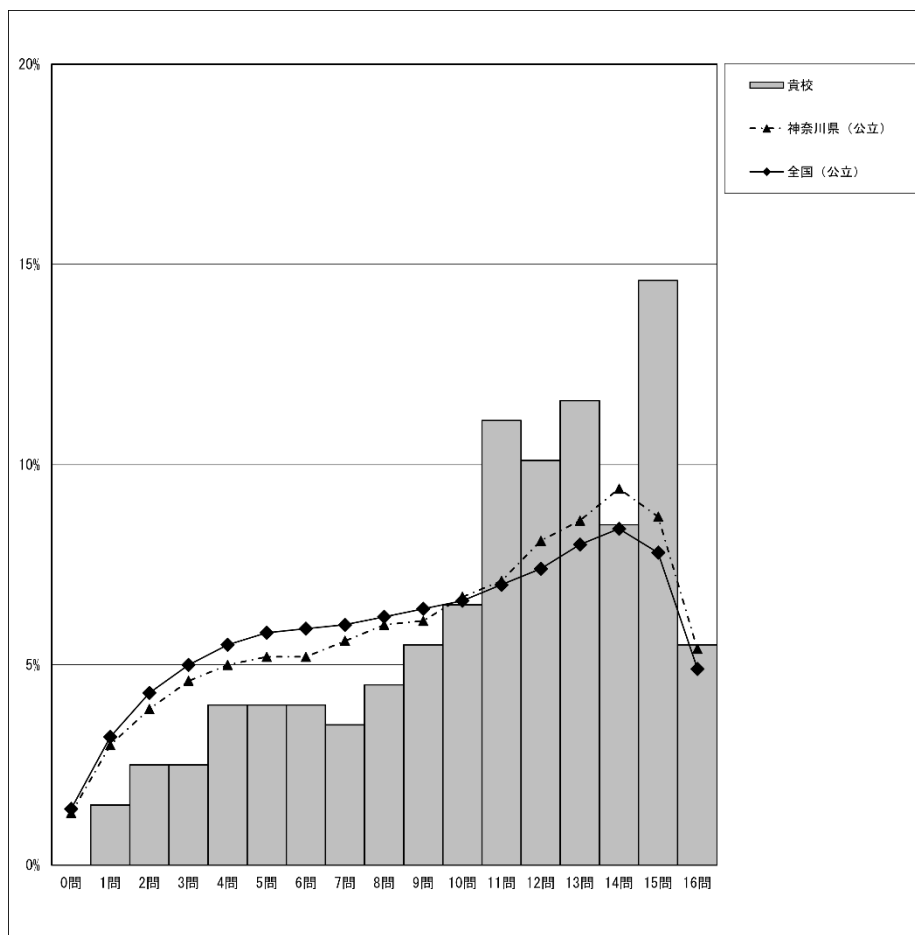
一方、全国と同様の傾向ではあるが、思考・判断・表現の記述式の問題の中には、他の問題と比べて無解答率が高い問題が見られる。全国や県に比べると本校の無解答率は低くなっているが、経年比較すると自らの考えの形成と記述の仕方についての指導工夫改善を図るとともに、学習過程における「共有」活動の充実を図り、粘り強く学習に取り組み、目的に応じて自分の考えをよりよく伝える力を育んだ成果と思われる。また、学校側が生徒自身の学びたいことを見出し、主体的に自己調整しながら「身に付けたい力」を育めるよう指導・支援の在り方を工夫し、さらなる学力の定着と向上を目指したい。

【本校と県・全国(公立)との学力・学習結果の比較】

数学の集計値と正答数分布グラフ

数 学	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
横浜市立篠原中学校	199	10.7 / 16	67	12.0	4.0
神奈川県 (公立)	56,944	9.5 / 16	59	10.0	4.4
全国 (公立)	842,491	9.1 / 16	57.0	10.0	4.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)



【学力・学習調査結果分析】数学

本校では、すべての領域において全国及び県平均を上回っており、とくに C 領域「関数」では17%以上、全国及び県平均を上回っていた。

観点別にみると、知識・技能では正答率が72%となっているが、設問によっては50%を割った正答率の解答があったり、全国及び県平均を下回ったりする設問もあった。また、課題となっていた思考・判断・表現は正答率が50.3%となっており、全国及び県平均よりも10%以上高い結果であった。

以上のことから、経年比較すると概ね取り組みが改善されたのではないかと考えられる。しかしながら、D 領域「データの活用」は他の領域と比較すると正答率が低いので、粘り強く取り組ませたり、図や表から読み取って考えたりできる力を身につけさせたい。

【本校と県・全国(公立)との学力・学習結果の比較】

英語の集計値

英 語	生徒数	平均正答数	標準偏差
横浜市立篠原中学校	195	5.5 / 9	2.3
神奈川県（公立）	53,734	5.0 / 9	2.5
全国（公立）	46,645	4.5 / 9	2.5

技能別平均正答数集計値

英 語	聞くこと	読むこと・書くこと	話すこと
横浜市立篠原中学校	1.5 / 2	3.2 / 5	0.9 / 2
神奈川県（公立）	1.3 / 2	2.9 / 5	0.7 / 2
全国（公立）	1.2 / 2	2.6 / 5	0.7 / 2

IRT スコア集計値

英 語	平均スコア	標準偏差	パーセントタイル値				
			10%	25%	50%	75%	90%
横浜市立篠原中学校	557	106.2	402	491	557	628	690
神奈川県（公立）	524	111.3	383	447	525	599	659
全国（公立）	499	108.1	363	422	498	575	636

【学力・学習調査結果分析】英語

英語 4 技能調査における平均正答数の結果は、全国及び県平均をすべて上回っていた。とくに、日常生活における身近な話題についての基本的なやり取りや応答に関する問題では高い正答率を示し、基礎的な英語コミュニケーション能力の定着が見られた。

その反面、知識を活用した自分の考えとその理由を話したり、書いたりするような自由度の高い意見表

明や即興での理由付けを求める問題に対する正答率が低かった。

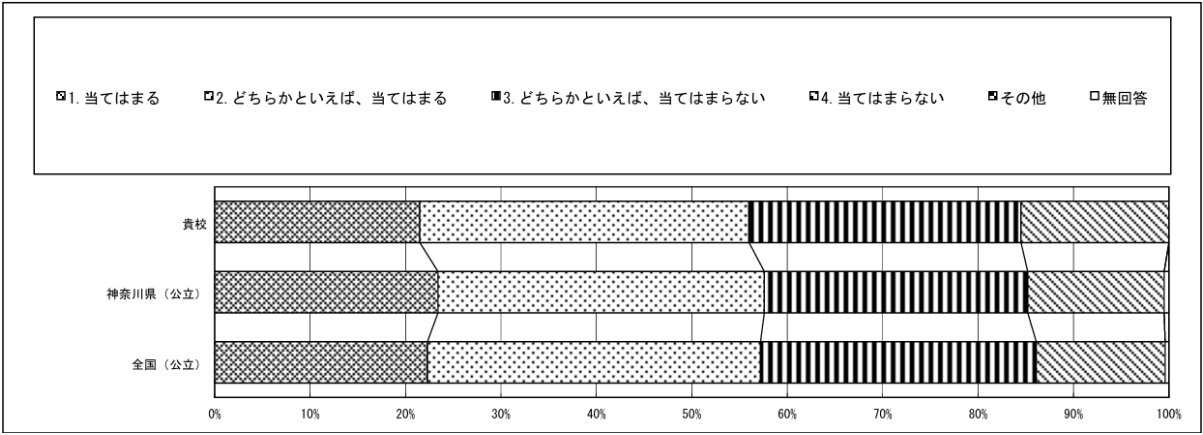
これは全国的な傾向ではあるが、自分の考えやその根拠をその場で論理的に表現する対応力に課題がある生徒が多い。その要因として、短文や定型的な応答の経験はあるものの、自らの主張と理由を即興で組み立てて表現する実践的な経験が少ないことに加え、まとまった意見を英語で発信することに対する自信や意欲が低いことが考えられる。このような問題を解けるようになるには、日常の授業において理由や具体例を付け加えて話したり書いたりする機会を増やし、自分の考えを英語で言語化、文章化する力をつけさせる。さらに、ICT 端末等機器を積極活用して表現への心理的ハードルを下げたり、難しく感じられる課題でも最後まであきらめずに表現させたりするなどして、どんな問題でも粘り強く英語でコミュニケーションを図ろうとする姿勢を身につけさせることが重要だと思われる。

【生徒質問紙調査結果より（一部抜粋）】

〈学習面〉

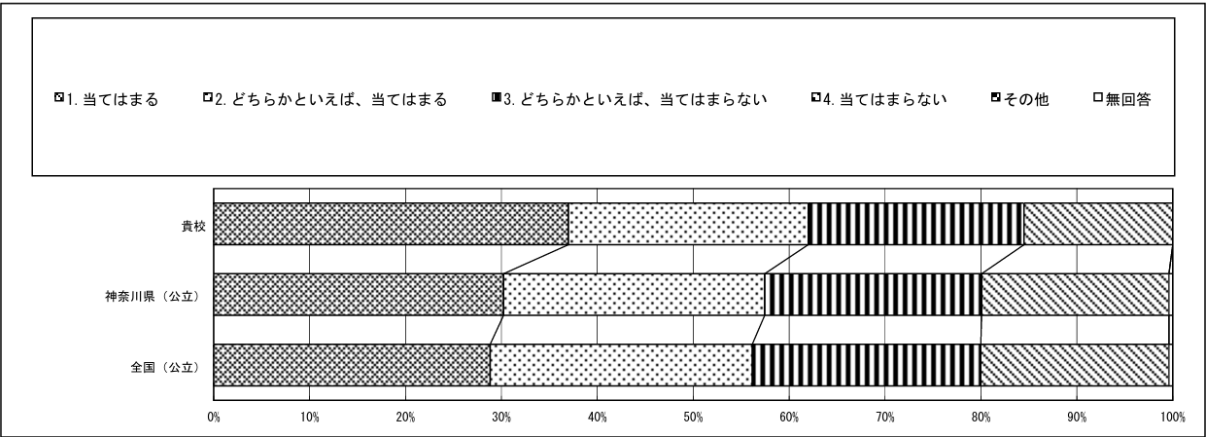
質問1 国語の勉強は好きですか

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	21.5	34.5	28.5	15.5							0.0	0.0
神奈川県（公立）	23.4	34.2	27.6	14.3							0.0	0.5
全国（公立）	22.3	34.9	28.9	13.5							0.0	0.4



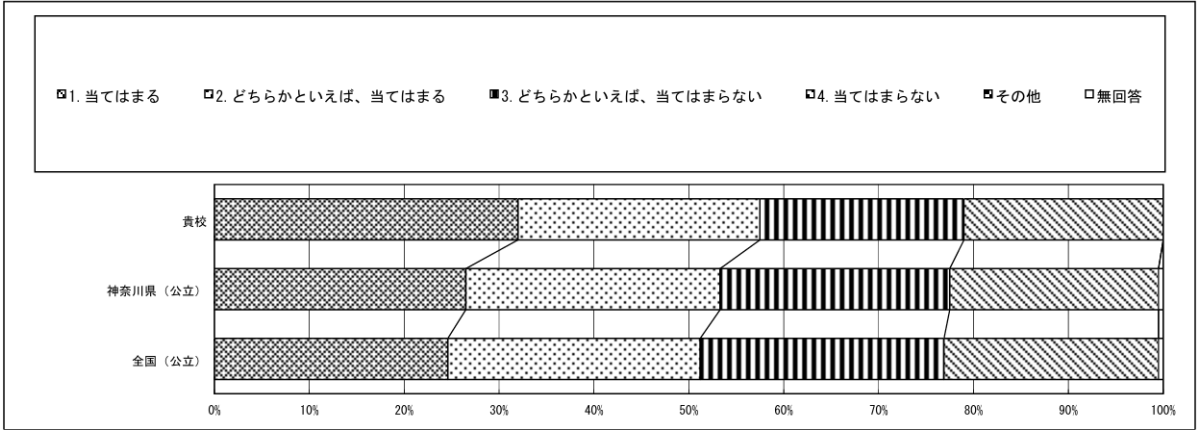
質問2 数学の勉強は好きですか

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	37.0	25.0	22.5	15.5							0.0	0.0
神奈川県（公立）	30.2	27.2	22.6	19.5							0.0	0.4
全国（公立）	28.8	27.3	23.8	19.6							0.0	0.4



質問3 英語の勉強は好きですか

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	32.0	25.5	21.5	21.0							0.0	0.0
神奈川県（公立）	26.5	26.8	24.2	22.0							0.0	0.5
全国（公立）	24.6	26.6	25.7	22.6							0.0	0.5

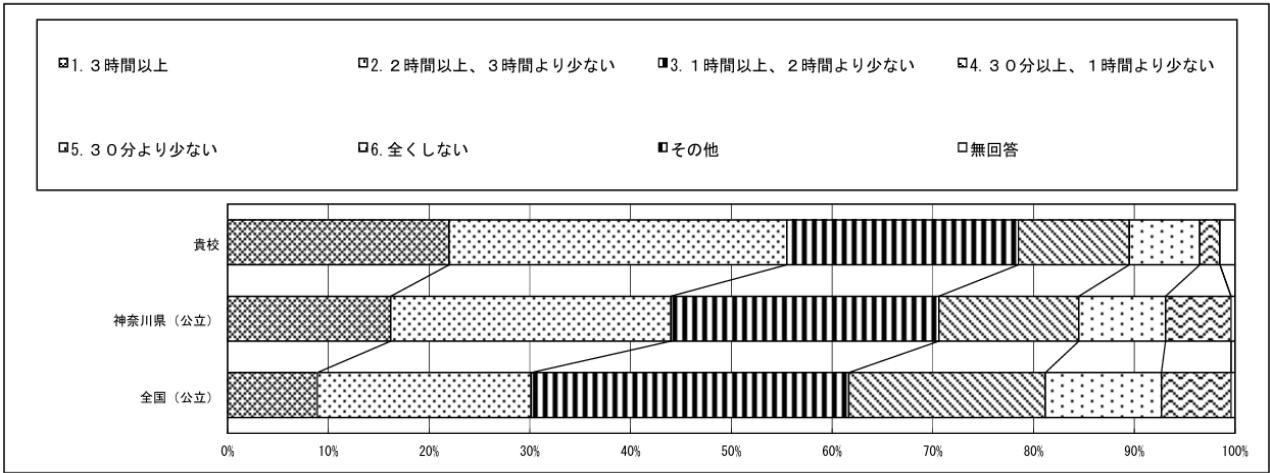


質問1～3の回答

- 「国語の勉強は好きですか」では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が 56.0%で 全国・県よりやや低い。
 - 「数学の勉強は好きですか」では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が 62.0%で、 全国・県より高い。
 - 「英語の勉強は好きですか」では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が 57.5%で 全国・県より高い。
- 3年生は、3教科において概ね興味・関心・意欲をもって授業に取り組む場面が多いと見受けられる。

質問4 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

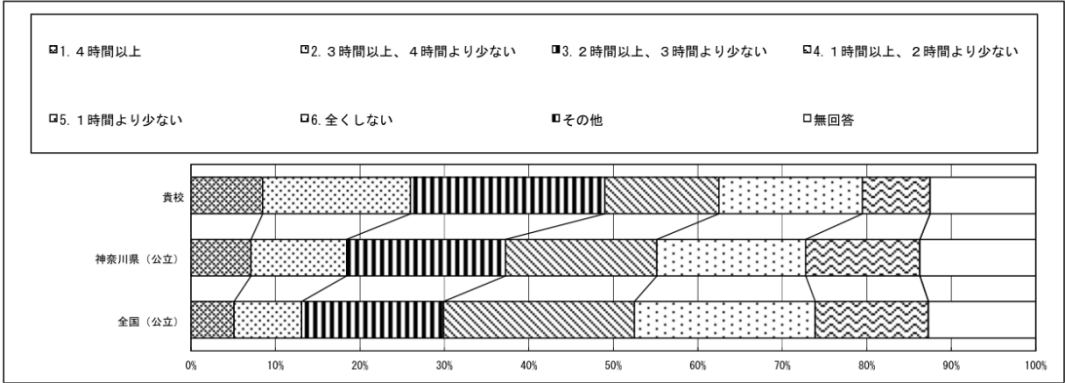
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	22.0	33.5	23.0	11.0	7.0	2.0					0.0	1.5
神奈川県（公立）	16.2	27.8	26.6	13.9	8.6	6.5					0.0	0.4
全国（公立）	8.9	21.2	31.5	19.5	11.5	6.9					0.0	0.4



○本校は3時間以上勉強している割合が 22.0%で、とくに2時間以上勉強している割合が全国より 25.4%高い。

質問5 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

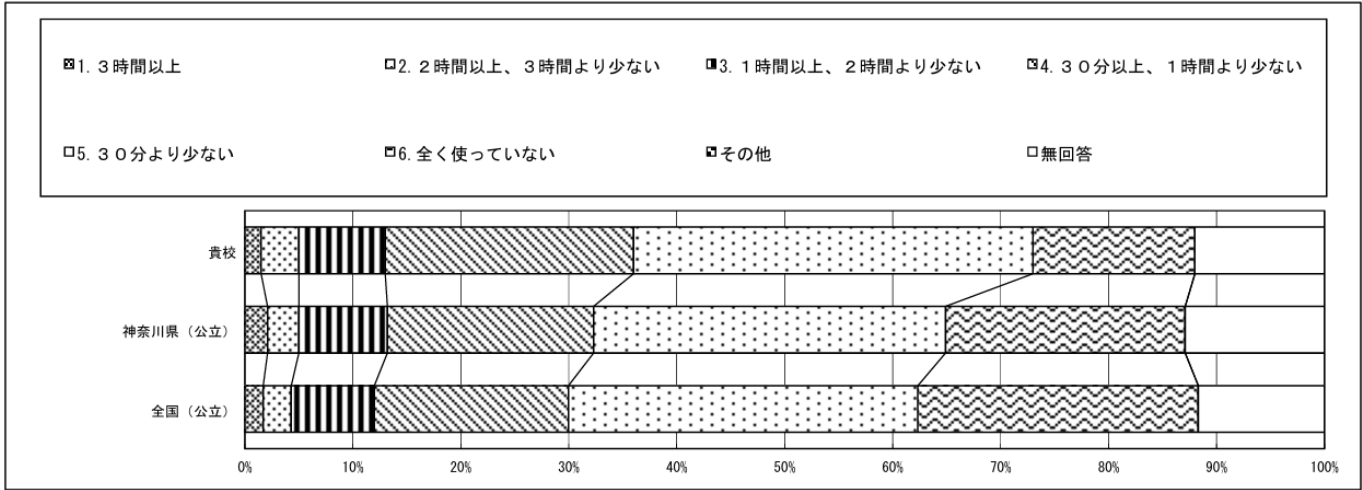
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	8.5	17.5	23.0	13.5	17.0	8.0					0.0	12.5
神奈川県（公立）	7.1	11.3	18.8	17.9	17.6	13.5					0.0	13.7
全国（公立）	5.1	8.0	16.8	22.6	21.4	13.4					0.0	12.7



○本校は「2時間以上3時間未満」の割合が最も高い。全国は「1時間以上2時間未満」が最も高い。また、3時間以上勉強をしている割合は 26.0%で全国より12.9%高い。

質問6 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	1.5	3.5	8.0	23.0	37.0	15.0					0.0	12.0
神奈川県（公立）	2.1	2.9	8.2	19.1	32.6	22.2					0.0	12.9
全国（公立）	1.7	2.6	7.7	18.0	32.4	26.0					0.0	11.7

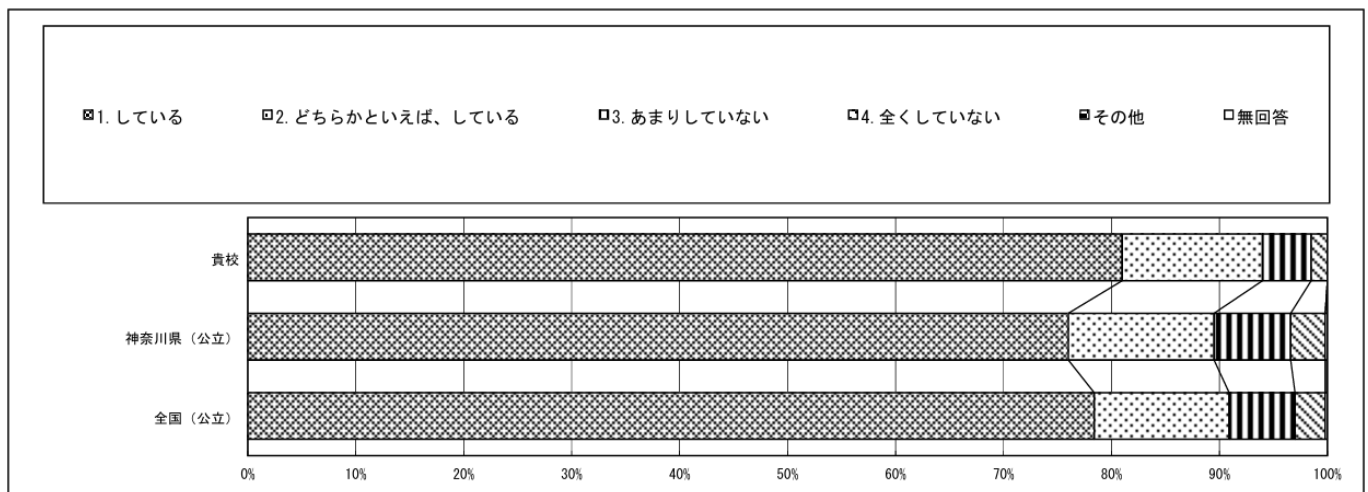


○本校は「30分より少ない」と回答した割合が 37.0%と最も高く、使用状況は全国とほぼ類似しているが、ICT 機器を用いた学習を行っている生徒が多いとみられる。

〈生活面〉

質問7 朝食を毎日食べているか

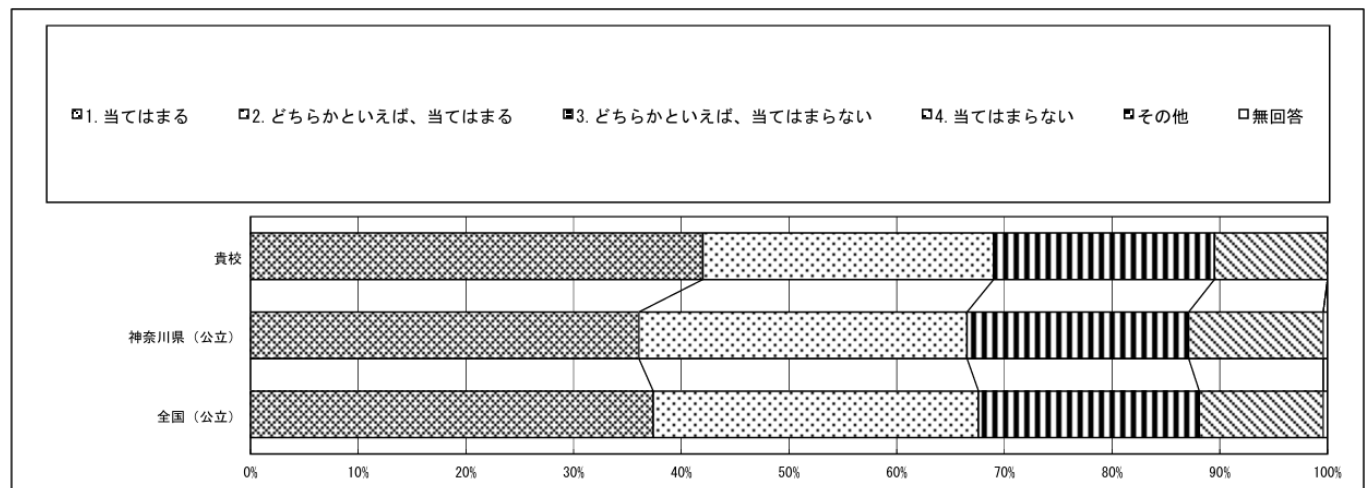
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	81.0	13.0	4.5	1.5							0.0	0.0
神奈川県（公立）	76.0	13.5	7.1	3.2							0.0	0.2
全国（公立）	78.4	12.5	6.1	2.8							0.0	0.2



○「食べている」と「どちらかといえば、食べている」が94.0%であり、全国とほぼ同様である。

質問8 将来の夢や目標を持っていますか

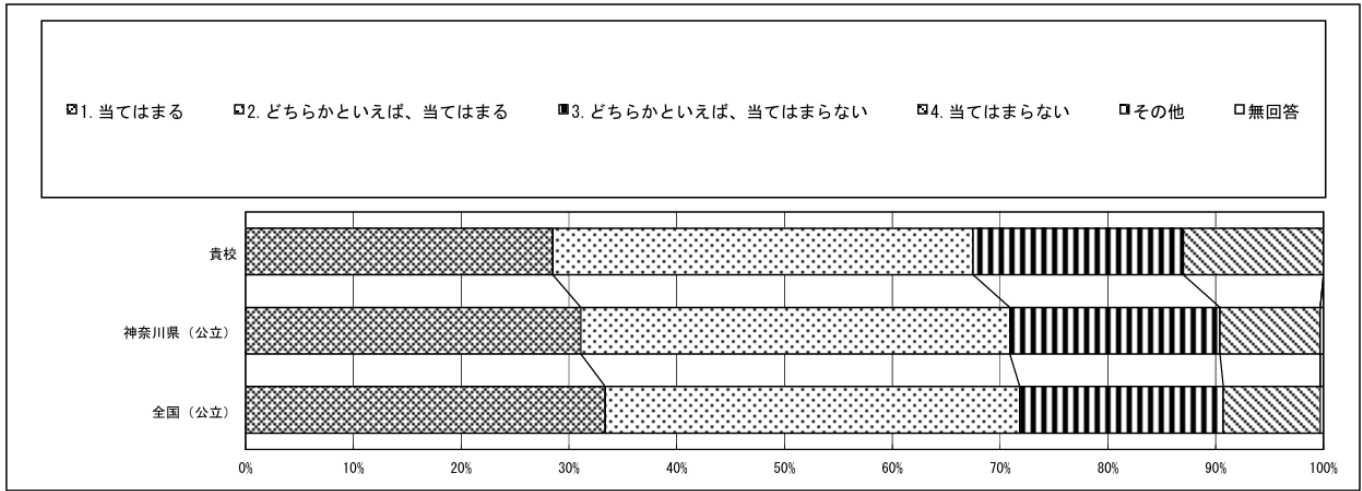
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	42.0	27.0	20.5	10.5							0.0	0.0
神奈川県（公立）	36.1	30.5	20.6	12.5							0.0	0.4
全国（公立）	37.4	30.2	20.5	11.5							0.0	0.4



○「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合が69.0%で、全国とほぼ同様である。

質問9 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

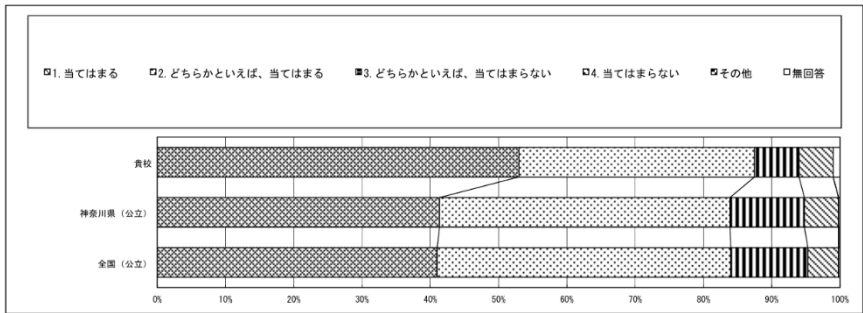
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	28.5	39.0	19.5	13.0							0.0	0.0
神奈川県（公立）	31.1	39.8	19.5	9.3							0.0	0.3
全国（公立）	33.4	38.5	18.9	9.0							0.0	0.3



○「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が67.5%で、全国よりやや低い。

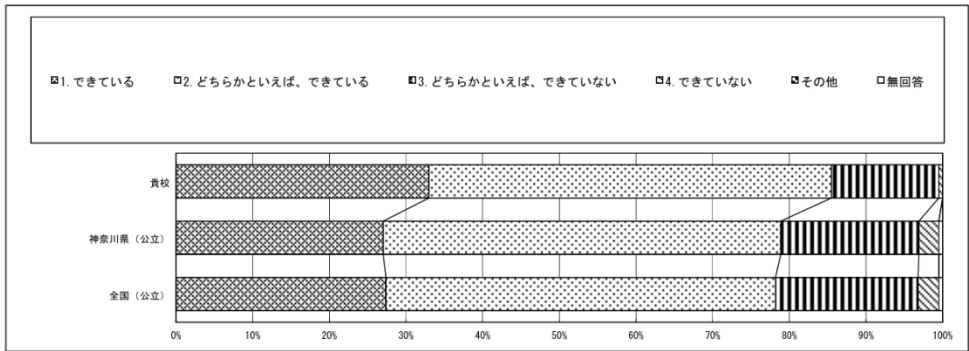
★自分には、よいところがあると思いますか

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	53.0	34.5	6.5	5.0							0.0	1.0
神奈川県（公立）	41.3	42.5	10.9	5.0							0.0	0.2
全国（公立）	41.0	43.0	11.3	4.5							0.0	0.2



★分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

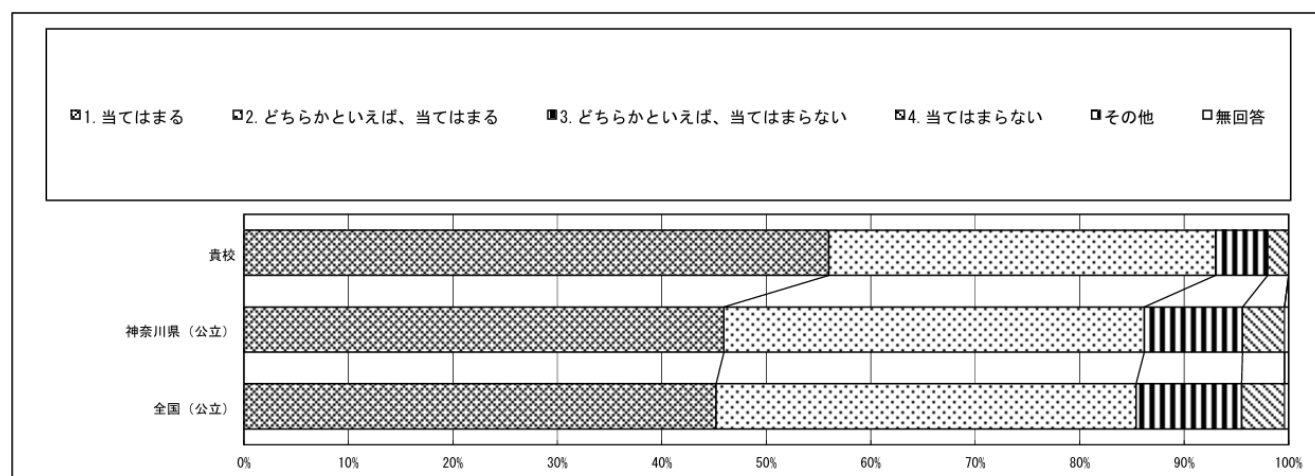
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	33.0	52.5	14.0	0.5							0.0	0.0
神奈川県（公立）	27.0	51.8	18.0	2.6							0.0	0.5
全国（公立）	27.4	50.8	18.6	2.7							0.0	0.5



○「自己肯定・有用感」に関する、上記★2つの質問項目について、全国・県と比べて肯定的な回答が多い。とくに今後の人生において、自分自身に自信をもって自分らしく歩むことが望まれる。

質問10 学校に行くのは楽しいと思いますか

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	56.0	37.0	5.0	2.0							0.0	0.0
神奈川県（公立）	45.9	40.2	9.4	4.0							0.0	0.4
全国（公立）	45.2	40.2	10.1	4.1							0.0	0.4



○「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」が93.0%で、全国より7.6%高い。

まとめ

教科に関する調査では、平均正答率が全国・神奈川県の集計値を国語・数学ともに上回っており、基礎的・基本的な学力が着実に定着している様子が見取れます。また、英語4技能においても、IRTスコアが全国・神奈川県を上回る結果となりました。調査結果はあくまでも全体的な傾向を示すものですので、一人ひとりの学習状況を丁寧に把握しながら、今後も確かな学力の定着と向上を目指して授業改善や支援の充実に努めていきます。

生徒質問紙調査では、「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」「先生は自分のよいところを認めてくれている」などの項目において肯定的な回答が多く見られました。また、自分と違う意見について考えることを楽しみ、話し合い活動を通して自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりしている様子もうかがえます。さらに、「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒の割合が高く、自他を大切にしながら学校生活を送ろうとする姿が見られます。これらの結果をもとに、今後も互いを尊重し、認め合いながら成長できる学校づくりを進めていきます。

「学びの主体性」に関わる質問項目では、「自分で学び方を考え工夫している」「課題の解決に向けて自分から取り組んでいる」「学習内容を振り返り次の学習につなげている」などの項目で肯定的な回答が多く見られました。

一方で、主体的な学びに対して十分な実感をもてていない生徒もいます。今後も生徒一人ひとりが学ぶ意義や目的を見だし、自ら学びに向かうことができるよう、探究的な学習活動の充実を図っていきます。

ICT機器を活用した学習については、情報収集や文章作成、情報整理、プレゼンテーション資料作成などに対する自己評価が全国・神奈川県を上回っており、生徒がICT機器を効果的に活用する力を身に付けていることがうかがえます。今後のAI導入を踏まえて、ICT機器の特性を生かした学習活動を充実させ、一人ひとりの学習効果を高められるよう指導の工夫と改善に取り組んでいきます。

なお、今回の調査で課題として捉えられた内容については、教職員で共有し、生徒理解や指導改善に生かしていきます。また、一人ひとりの状況に応じた支援の充実を図るとともに、日常の教育活動や教育相談を通して、生徒が安心して学び、成長できる環境づくりに努めていきます。

本校の学校教育目標は「自分をつくる」「想いをはぐくむ」「未来へつなげる」です。この目標実現に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の充実を図るとともに、それらを支える基本的生活習慣や学習習慣の定着を大切にしていきます。知・徳・体の調和のとれた「生きる力」を育むために、今後ともご家庭と連携しながら教育活動を推進していきたいと考えています。